

# 浜小だより

令和8年2月2日 第707号

目指す学校像  
「毎日を笑顔でいきいき過ごす学校」  
学校教育目標  
・考えを深め合う子  
・思いやりのある子  
・ねばり強くやりぬく子



←浜頓別小HP  
QRコード

URL: <https://hamatonbetsu.schoolweb.n>

e.jp/0110025

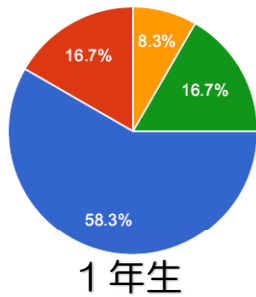
## 「リアルな学び、リアルなコミュニケーションを」

ー昨年、オーストラリア議会は16歳未満の子どもたちによるソーシャルメディアの利用を全面的に禁止するという前例のない法律を承認しました。その背景には、ソーシャルメディアの過度な利用が子どもたちのメンタルヘルスに深刻な影響を及ぼす可能性があることから、子どもたちの安全と健全な成長を守りたいという強い意図があります。また、日本においても、愛知県豊明市が「スマホ使用条例」を施行し、自由時間でのスマートフォンの使用を1日2時間以内に抑えることや、小学生以下は午後9時以降の利用を控えことを求めています。反対意見もありましたが、こちらもまた、子どもたちの睡眠時間の確保等、健やかな成長を願う取組であることがうかがえます。

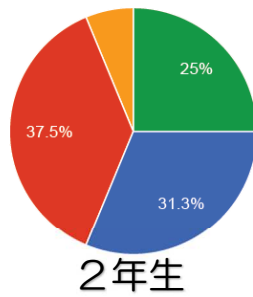


校長 佐藤 秀人

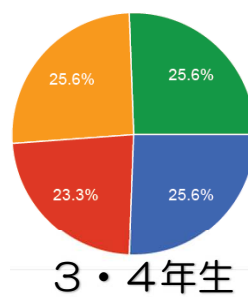
さて、子どもたちを取り巻く環境が、法律等で規制しなければいけないほどの危機的な状況なのでしょうか。今年度実施した本校の学校アンケートによって、子どもたちのメディア使用時間や保護者の皆様の働きかけについて、下記のことがわかりました。



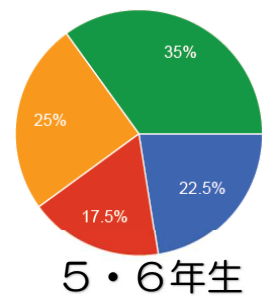
1年生



2年生

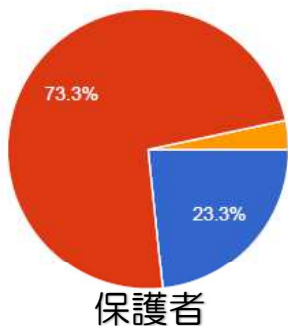


3・4年生



5・6年生

上記の円グラフは子どもたちの日常のメディア使用時間を示しています。1時間未満が青、2時間未満が赤、3時間未満がオレンジ、それ以上の使用が緑となっています。学年が上がるにつれ、青の割合が低くなり、緑の割合が高くなっていることがわかります。このまま成長とともにメディア使用時間が増え続けるようならば、オーストラリアや豊明市のような規制案が必要になる可能性も考えられます。



保護者

そのような子どもたちのメディア使用状況の中、左の円グラフは、保護者の皆様が「メディア使用時間が適切になるように働きかけを行っている」かを示したものです。95%以上のご家庭が、使用時間を区切ったり、声掛けを継続したりしていることがわかりました。(青：よくあてはまる 赤：あてはまる) 学校でも同じ視点で指導を続けていますので、ご家庭と連携しながら子どもたちを見守れていることを大変ありがたく感じています。

タブレットやスマートフォンは非常に便利な道具ですが、実体験に基づく学びに勝るものではありません。子どもたちには、体を動かし、知恵を働かせ、友達とたくさんかかわりながら、豊かな経験を積んでほしいと願っています。

# 後期学校評価アンケートより ~ご協力ありがとうございました~

(満点4, 中間値2.5、◎3.5以上高評価(赤)、3未満低評価(青))

## I. 学力・体力・心について

			前期	後期
1	児童	進んで挨拶をしていますか。	3.4	3.4
	教職員	子ども達は進んで挨拶をしている。	2.7	2.9
<p>まだ、数値的には物足りないですが、前期と比べると数値が上がっています。この成果を生かして指導Gを中心に、子ども、大人ともに根気強く、粘り強く挨拶の取組を続けていきます。</p>				
2	児童	友達と助け合うことができますか。	3.3	3.4
	保護者	「徳」の教育目標「思いやりのある子」の取組の成果がある。	3.3	3.4
	教職員	「徳」の教育目標「思いやりのある子」が育っている。	3.0	3.4
3	児童	あきらめずに挑戦することができますか。	3.3	3.2
	保護者	「体」の教育目標「ねばり強くやりぬく子」の取組の成果がある。	3.3	2.9
	教職員	「体」の教育目標「ねばり強くやりぬく子」が育っている。	2.9	3.1
<p>体力的なものもありますが、身につけていくための少しずつ努力を積み重ねていく力がもう少しの様です。体育を中心とした毎回の地道な体力づくりの取組をはじめとして、他の授業の面でも、学力を高めていくための粘り強い取り組みを大切にしていきます。</p>				
4	教職員	体力向上プランや新体力テストの評価をもとに、組織的な体力づくりにより、児童の体力が向上している。	3.0	2.8
	<p>体力はもちろんのこと、粘り強さを育成していくうえでも、保健体育Gが中心となりながら、体育の授業を中心とした中で、全校的な体力づくりの取組を考えていきます。</p>			
5	児童	学校は楽しいですか。	3.4	3.3
	保護者	我が子は、楽しく学校に通っている。	3.3	3.2
	教職員	子ども達は楽しく学校生活を送っている。	3.5	3.3
6	児童	自分には良いところはありますか。	2.7	2.8
	<p>粘り強くちゃんと聞く、ちゃんと話すことを大切に、考えを深め合う授業づくりを大切にしてきました。あいさつについても、粘り強く取り組むことを大切にしています。まだ数値的には物足りないですが、子どもたちが自信を持てることが少しずつ増えてきています。</p>			
7	児童	いじめは絶対にしてはいけないこととわかっていますか。	3.8	3.9
	<p>指導G中心に取り組んできました、普段からのいじめ指導、友達とのかかわりの指導、授業を通じた生徒指導の成果が出ています。</p>			
8	教職員	いじめ・不登校・体罰の未然防止等に関する危機管理意識が高まっている。	3.7	3.7
9	教職員	個別面談やアンケートによる児童理解を深め、きめ細かな生徒指導を行っている。	3.8	3.7
	<p>2学期後半に指導G提起による個人懇談を行いました。子どもたち一人一人の喜びや悩みについていねいな対応を行うことができました。</p>			

	教職員	児童の実践交流が随時行われ、組織的指導体制や校外外との連携が迅速に行われている。	3. 8	3. 5
10		毎日の職員終会の中で（毎日、16：15～16：30に行っています。）児童の様子を全校で交流しています。今後は、指導Gが中心となり、学級で困ったことがあったときに、担任の先生が悩むだけで終わらず、指導Gの先生や、校長や教頭と一緒に話し合って子どもたちのための方策を考えていける体制を考えていきます。		
11	教職員	教育活動全般にわたって、子ども達の安全確保に努めている。	3. 5	3. 9
12	教職員	不審者対策や登下校の安全、熊出没時の対応など、防犯・安全体制が確立されている。	3. 7	3. 8
13	教職員	各種調査結果等や教育活動の実践をもとに教育活動の改善が図られている。	3. 3	3. 0
		教務Gが中心となりながら、来年度の授業内容をもっと子どもたちがわかりやすく、楽しみながら学べるようなものとなるように、改善を重ねていきます。		
14	教職員	予算・経理の適切な処理、要望の集約や文書整理、発送・保管は適切に行われている。	3. 7	3. 9
15	教職員	施設設備の整理や安全点検は、組織的・定期的に行われている。	3. 7	3. 7
16	教職員	教職員の服務規程違反を防止するための研修や情報提供が行われている。	3. 7	3. 9
	教職員	働き方の問題を自分事にとらえ、my 定時退勤や no 残業ディなどにより、自身の働き方を見直している。	3. 2	3. 2
17		先生方が子どもたちに対して効果的な教育活動を行うこと（授業と学級づくりを大切に、全力で取り組める）ができるように、日々の生活の質や教職人生を豊かにし、自らの人間性や創造性を高める時間の確保のために、働き方改革に取り組んでいます。（先生方の勤務時間8：00～16：30、残業時間…月4.5時間まで…いずれ30時間までになりそうです。）そのために、校長、教頭のほうで、先生方が休憩時間（15：30～16：15…一般の方の昼休みと同じで、自由に過ごせる時間です。その分先生方は、昼は給食指導や、清掃指導などがあり、仕事をしています。）を確保し、退勤時間（16：30）に帰りながらも、子どもたちのための授業準備や打ち合わせができるように、A日課（通常日課…6校時15：30下校：火、金）、B日課（短縮日課、会議日…6校時14：45下校：月、水）、5時間授業（A日課…14：40下校→会議のない木曜日、B日課…14：10下校→会議日の木曜日）など、4月からの日課表の整備を進めています。また、授業時間を確保するための行事の内容の精選、日程の整備に取り組んでいます。土日、祝日等の先生方の休日の確保も含め、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。		
18	教職員	自身のアイデアを生かしながらも、働き甲斐を感じる職場づくりに努めている。	3. 1	3. 3



## II. 授業について

			前期	後期
19	児童	授業は楽しいですか。	3. 2	3. 1
20	児童	国語の授業はよくわかりますか。	3. 3	3. 2
21	児童	算数の授業はよくわかりますか。	3. 2	3. 2
22	児童	理科の授業はよくわかりますか。	3. 3	3. 3
23	教職員	授業改善の検証が組織的に進められている。	3. 3	3. 5
24	教職員	全教育活動を通して、各学年の道徳重点目標の実現に向けた指導が行われている。	3. 1	3. 2
25	教職員	学級活動を通して、コミュニケーション能力や社会情緒的能力が向上している。	3. 1	3. 3
26	教職員	児童会活動を通して、自治的能力や自主性が向上している。	3. 1	2. 8
	何年か同じような活動が続いてしまって、子どもたちの意欲を生かし切れていないところがあります。児童中心に新たな活動を考えたり、自発的に活動できるような計画づくりについて、指導 G で考えていきます。			
27	教職員	学校行事を通して、集団への所属感や連帯感、公共の精神が向上している。	3. 5	3. 5
28	教職員	特別な支援を要する児童の実態の共有と、組織的な支援体制が確立されている。	3. 3	3. 5
29	教職員	特別支援教育を充実させるため、校内外との連携や支援体制が確立されている。	3. 2	3. 4
30	児童	授業では先生や友達の話をよく聞き、低…発表したりしていますか。中高…自分の考えを発表したり、説明したりしていますか。	3. 1	3. 0
	保護者	今年度の重点目標「『元気いっぱい笑顔でいきいき』の子どもの育成」や合言葉「ちゃんと聞く、ちゃんと話す」が伝わっている。	3. 2	3. 0
	教職員	合言葉「ちゃんと聞く、ちゃんと話す」子が育っている。	2. 9	2. 8
子どもたちが意欲をもってたくさん話そう、しっかり聞こうとすることができるような取組を教務 G 中心に、今やっている取り組みをよりいねいに取り組むことも含めながら考えていきます。				
31	児童	ペアやグループ学習で、自分の考えを広めたり深めたり、確かめたりしていますか。	2. 8	3. 2
	保護者	「知」の教育目標「考えを深め合う子」の取組の成果がある。	3. 1	3. 0
学び研修 G が中心となって、グループで協力して学習に取り組み、学んだことや考えたことをノートに書いたり、ICT を活用したりする方法を先生方で授業を見せ合いながら取り組んでいます。それらの成果が出ています。				

### 保護者同士の楽しいひと時を過ごしました。

12月にPTA恒例の、ミニバレー大会を開きました。学年ごとにチームを組み、保護者同士のチームワークを高めながら、和気あいあいと楽しみました。場の設定、当日の準備、進行と進めてくださった。PTA行事部会の皆様。大変ありがとうございました。



			前期	後期
32	児童	タブレットを、低…使った学習は楽しいですか。中・高…学習に役立っていますか。	3. 6	3. 6
	保護者	学校は、ICT を活用するなどの授業改善を続け、わかる・楽しい授業づくりに努めている。	3. 3	3. 1
	教職員	ICT の活用により授業改善や校務 DX が図られている。	3. 0	3. 1
子どもたちは、タブレットを使って自分の意見を書いたり、自分のアイデアを交流する学習に積極的に取り組んでいます。新年度からは、子どもたちに、iPad 等が町から貸与されます。その時に効果的な使い方を先生方で学習して授業に生かしていきます。				
33	保護者	学校は、地域の力（人材・施設・設備など）を生かした教育活動を進めている。	3. 3	3. 3
	教職員	浜頓別の教育資源を生かした教育活動の充実・改善が進んでいる。	3. 7	3. 5
34	教職員	自身の研修課題を意識し、自ら進んで研修を進めている。	3. 1	2. 9
	毎日の忙しさもあり、先生方も学びたいところですが、なかなか難しさがあるようです。学び研修 G では、外に出での研修も含めて、先生方がたくさん学び、より子どもたちにわかる楽しい授業ができるようにと考えています。			

### Ⅲ. 家での生活について

			前期	後期
35	児童	朝ご飯を毎日食べていますか。	3. 7	3. 7
36	児童	体を動かすことが好きですか。	3. 4	3. 4
37	児童	家庭学習や宿題に進んで取り組み、30分（1・2年）、40分（3年）、50分（4年）、60分（5年）、70分（6年）勉強していますか。	2. 9	2. 9
	保護者	わが子は、学年の目安時間の家庭学習（宿題を含む）をしている。	3. 1	2. 8
		わが子が、学年の目安時間の家庭学習（宿題を含む）をするように働きかけている。	3. 1	3. 1
上記の朝ごはんも含めて大変ありがとうございます。ご家庭の力で、子どもたちの規則正しい生活づくりができています。家庭学習については、声かけはしても… なかなか… と、ご家庭でもご苦労されているようですね。教務 G のほうでは、新年度家庭学習の意欲を高める取り組みを、ていねいに子どもたちに指導する方向で考えています。				
38	児童	家で読書をしていますか。	2. 4	2. 2
ご家庭での読書もなかなか進まなくて苦労していることと思います。環境文化 G が中心となり、まずは学校で読書を進めて、本を好きになってもらおうという取組を考えていきます。				



39	児童	普段の日のゲーム・インターネット・YouTube・SNSなどの時間（0～1時間4、1～2時間3、2～3時間2、3～4時間1）	2.7	2.6
	保護者	わが子のメディア使用（ゲームやSNSなど）の時間は適切である。	2.7	2.4
		わが子のメディア使用（ゲームやSNSなど）の時間が適切になるように働きかけている。	3.2	3.2
<p>言っても… 言っても… ご家庭でも困っているところですね。でも、粘り強く声かけはお願いします。学校でも、指導Gを中心に、新年度早期からのゲーム、インターネット、YouTube、SNS等の自己管理に向けた取り組みを考えていきます。</p>				
40	児童	交通ルールや約束を守って安全に過ごしていますか。	3.7	3.7
	保護者	学校は、教育活動全般にわたって、子どもたちの安全確保に努めている。	3.5	3.3
41	教職員	学校経営方針や教育活動の様子は、保護者・地域に伝わっている。	3.3	3.5
42	教職員	園・小・中の連携が計画的に行われ、交流に効果が表れている。	3.3	3.3
43	教職員	学校を応援する地域や保護者の様子が見られている。	3.5	3.5

## □保護者の方のご意見より

・「アンケートのお願い」通知文の回答の仕方の文書を改善してほしい。通知文を配布する前にフォームの事前にアクセスできるかチェックしてほしいです。（何度もアクセスして時間が無駄になりました。）

お忙しい中、大変ご迷惑をおかけしました。わかりやすく改善していくことと、フォーム完成後は、しっかり確認をしていきたいと思えます。

・記名式で行うことや学年を書く意味があまりない気がします。

アンケート結果については、全校的な様子を校長、教頭が見ることと同時に、学級の様子については、担任が見ています。ですので、学級経営に生かすためにも学年は必要と考えています。また、一人一人の子どもたちやご家庭の悩みに応え、ていねいに指導したり、対応していくためにも、ぜひともどなたかわかることが必要です。お手数をおかけしますが、ご理解をお願いいたします。



## □まとめ

- 2学期の学校の取組、先生方の尽力、子どもたちのがんばり、ご家庭のご協力により、まだ課題はあるものの、考えを深め合う力が伸び、積極的に挨拶をする子が少しずつ増えています。児童の自信も少しずつついてきています。全校的に課題をおさえて、学級の先生だけが努力するのではなく、校内の色々なグループで知恵を出し合いながら取り組むことにより子どもたちに力をつけることができました。また、ご家庭でのご指導、ご協力、大変ありがとうございました。
- 今回の結果から子どもたちの伸びているところ、引き続き力をつけているところ、課題が見えてきているところ、依然として課題が解決していないところ、様々な面を見ながら、これからの教育活動、新年度の教育活動に生かしていきたいと考えています。

## □今、こんなことを話し合っています。

### ■教務 G

- ・今年取り組んだ授業をもっとわかりやすく、楽しく、ていねいに子どもたちに力をつけていけるように、内容と、時数について話し合っています。
- ・ちゃんと聞く、ちゃんと話す力を高めるために、取り組みだけでなく、子どもたちが意欲をもって「やろう！」と思える声かけの方法を考えています。
- ・子どもたちが意欲的に家庭でも学習に取り組もうと考えることができる。そんな子どもたちの様子を家庭でも激励できるような内容を考えています。

### ■指導 G

- ・子ども、大人ともに、根気強く、粘り強く、学校生活の意欲が高まるように、あいさつを元気よく続けていきます。
- ・学級の良いことや、困りごとを、全員の先生方が知っていて、指導の仕方をみんなで考えあい、みんなで指導していける体制を考えていきます。
- ・前年度と同じことだけではなく、子どもたちの意見を生かしながら新しい取組を考え、子どもたちが積極的に活動していける委員会活動を目指します。

### ■環境文化 G

- ・家での読書習慣につながるように、まずは、学校での読書習慣をつける取り組みを考えていきます。

### ■学び研修 G

- ・新年度タブレットがiPadに変わります。ぜひ、授業に生きるように先生方で使い方、子どもたちの授業での活用の仕方を学んでいきます。
- ・学校の中だけでなく、先生方も外に出てたくさん学んで、子どもたちへの授業、指導に生かしていきます。

### ■保体 G

- ・授業の中で、子どもたちの実態に合わせながら、毎時間取り組んでいく体力づくりを考え、体力アップと、粘り強さアップを目指します。

### ■管理職(校長・教頭)

- ・先生方が、授業づくりや学級の集団づくりに全力で取り組み、困ったことを相談しあいながら解決していけるような元気のある学校になるように、時間の工夫と、仕事内容の工夫、休息が取れる環境づくりをしていきます。

## 冬を好きになる

子どもたちは、冬の寒さが厳しく、雪がたくさん降る北海道、この浜頓別で過ごしています。12月～3月のこの長い期間、楽しく過ごすためには、冬が好きになることが不可欠です。冬が嫌いになって、暖かい家で、ゲーム・YouTube・ネットばかりしては損をしてしまいます。

私たちの暮らしている北海道でしかほぼできない遊びがあります。ウィンタースポーツ、雪遊びです。学校では、少しでも上手になれば、たくさん滑って冬が楽しくなるスキー授業、雪山でたくさん遊べば冬が楽しくなる、しり滑り、ソリ滑り、チューブ滑りができます。先週の放課後、学童で遊んでいる子どもたちの様子を見かけました。スコップを出してきて、遊具のところで雪穴掘りをして遊んでいました。

たくさん外に出て友達と雪遊びをして、「冬を楽しく過ごす。」「冬を好きなる。」そんな子どもたちに育ってくれればと思います。

地域の方も、スキー授業の講師やお手伝いとして来てくださったり、グランドの雪山づくりをしてくださったりと、たくさん子どもたちのためにお手伝いして下さっています。ぜひ、冬が苦手な大人も、子どもたちをいっぱい外に連れ出して一緒に楽しんでみてはいかがでしょうか。



- 2日(月) 浜中入学説明会(6年)
- 3日(火) 3・4年スキー
- 4日(水) 一日入学・保護者説明会
- 6日(金) 1・2年スキー  
PTA 役員会(18:30)
- 9日(月) 全校朝会  
児童会環境委員会掃除強化週間(～13日)  
食物アレルギー調査〆切
- 10日(火) 1・2年参観・懇談
- 11日(水) 建国記念の日
- 12日(木) 5・6年参観・懇談  
1・2年スキー
- 13日(金) 3・4年参観・懇談
- 16日(月) PTA 運営委(18:30)
- 23日(月) 天皇誕生日
- 24日(火) メディア対策強化週間  
(～3/3)
- 27日(金) 児童会役員選出



## 仲間同士のきずなを深め、困ったことを何でも出し合える集団に

自殺予防教育の一環として、2学期末から3学期初めにかけて3年生と5年生で道徳授業をしました。本校の若手のホープの大柳先生と、堀田先生が、子どもたちがかかわる力を高め自分たちにとって楽しい学校になるようにと、道徳の授業の中身を工夫して取り組みました。

5年生は、思春期の入り口として悩みはだれでももつもの、悩みがあるから成長する、恥ずかしいことではないので、悩んだことがあったら友達や先生や大人にどんどん相談していこう！ 3年生は、悪意はないのに何気ない一言が友達を傷つけてしまうことがある。そんな言葉がけを気を付けることや、相手は悪意をもって言っているわけではなく、自分のことを気にかけて言ってくれているときが多いので、友達からの声かけは恥ずかしいことではなく、もっと自信をもって友達をたくさん頼っていこう！ 等のことを学びました。人と人とのかかわりは子どもも大人も一番難しいことです。でも、相手がいるからこそ頼れる。相談できる。だからかかわることは素晴らしいと感じてくれることを願っています。